

日本台湾学会  
第 26 回学術大会分科会プログラム

日時 2024 年 5 月 26 日 (日)  
会場 麗澤大学かえで校舎 4 階 (別紙 6 参照)  
Webex オンライン会場情報 (別紙 7 参照)

	1408 教室	1405 教室	1404 教室	1411 教室
第 I 部 9:30～ 11:20	第 1 分科会 (歴史学)	第 2 分科会 (社会学)	第 3 分科会 (文学・人類学)	
第 II 部 12:30～ 14:20	第 4 分科会 (社会言語学)	第 5 分科会 (文学)	第 6 分科会 (社会学・歴史学)	第 7 分科会 (経済学) (12:30-13:25)
第 III 部 14:40～ 16:30	第 8 分科会 (歴史学)	第 9 分科会 (文学)	第 10 分科会 (社会学・歴史学) (14:40-15:35)	

《 第 I 部 9:30～11:20 》

◇第 1 分科会(歴史学) \*1 セッション企画

戦後中華民国／台湾における動員と戸籍：軍事史と制度史からの探究

◎企画責任者：鶴園裕基(香川大学)

◎座長：松田康博(東京大学)

◎報告：

・藤井元博(防衛省防衛研究所)

「中華民国政府の軍事動員にみる戸政と治安工作 (1946-1950)」

・鶴園裕基(香川大学)

「戦後台湾における兵役行政の展開と戸籍政策 (1947-1954)」

◎コメンテーター：林果頭(国立政治大学)、楊子震(南台科技大学)

◇第 2 分科会(社会学) \*1 セッション企画

社区营造日常化時代をどう描くか：社区総体营造、社区発展 2 つの流れから考える

◎企画責任者：星純子(茨城大学)

◎座長：星純子(茨城大学)

◎報告：

・星純子(茨城大学)

「社区营造間の強い関係性と地方創生の淡いつながり：高雄市美濃区を例に」

・佐々木孝子(早稲田大学)

「社区総体营造が目指した『公共事務参与』概念の検討：屏東県林邊郷を例に」

◎コメンテーター：前野清太郎(金沢大学)、渡邊泰輔(東京都立大学・院生)

◇第3分科会(文学・人類学) 自由論題

◎座長：豊田周子(名城大学)

◎報告：

・李星雨(一橋大学・院生)

「「海外」へ追放された二人—朱天文と舞鶴のあゆみ」

・沼崎一郎(東北大学)

「温又柔作品をオートエスノグラフィとして読む—現代日本語小説の中の「台湾」と「日本」(4)」

◎コメンテーター：阿部沙織(拓殖大学)、藤野陽平(北海道大学)

《 第Ⅱ部 12:30~14:20 》

◇第4分科会(社会言語学) 自由論題

◎座長：富田哲(淡江大学)

◎報告：

・呂美親(国立台湾師範大学)

「新たな「新台語歌運動」および地方文学の試みとして—謝銘祐の音楽アルバム『台南』を中心に論ずる」

・齋藤幸世(名古屋市立大学)

「台湾のエスニック・グループをめぐる融合と分断のリスク回避」

◎コメンテーター：中川仁(明海大学)、平井清子(北里大学)

◇第5分科会(文学) 自由論題

◎座長：唐顥芸(同志社大学)

◎報告：

・邱政芃(東京大学・院生)

「楊逵の戦時下作品再考：「農園」の視座を手がかりに」

・和泉司(豊橋技術科学大学)

「戦後日本語文学が描いた台湾独立運動—なぜ描くのか、どのように描くのか」

◎コメンテーター：大東和重(関西学院大学)、明田川聡士(獨協大学)

◇第6分科会(社会学・歴史学) \*2セッション企画

「台湾の政治犯を救う会」をめぐる人権運動ネットワークと治安対策：美麗島事件を中心に

◎企画責任者：許仁碩(北海道大学)

◎座長：上水流久彦(県立広島大学)

◎報告：

・郭書瑜(一橋大学・院生)

「民主化運動に交じり合う人権運動：美麗島事件と審判期間における日本「台湾の政治犯を救う会」の活動を手がかりに」

・藤野陽平(北海道大学)

「日台連帯運動におけるキリスト教のネットワークと「台湾の政治犯を救う会」：美麗島事件を中心として」

◎コメンテーター：駒込武(京都大学)

◇第7分科会(経済学) 自由論題

◎座長：堀内義隆(三重大学)

◎報告：

・赤羽淳(中央大学)

「鴻華先進科技・MIHによるEV事業—台湾ものづくり産業史からみた連続性と非連続性」

◎コメンテーター：佐藤幸人(アジア経済研究所)

《 第Ⅲ部 14:40～16:30 》

◇第8分科会(歴史学) 自由論題

◎座長：角南聡一郎(神奈川大学)

◎報告

・三文字昌也(東京大学・院生)

「近代台湾における都市生活施設の形成過程—日本統治時代以降の民営湯屋を事例として」

・ジュリアン・タシュ(ペンシルベニア大学・院生)

「台湾人と帝国日本の足跡—1940年代から70年代までの在日台湾組織と在外台湾人の位置について」

◎コメンテーター：平井健介(甲南大学)、岡野〔葉〕翔太(神戸大学)

◇第9分科会(文学) \*1セッション企画

文化翻訳として読む戦後日台文学の往還：日影丈吉、朱佩蘭を中心に

◎企画責任者：垂水千恵(横浜国立大学)

◎座長：垂水千恵(横浜国立大学)

◎報告：

・李文茹(淡江大学)

「日影丈吉の「台湾」作品が裁くもの—「天仙宮の審判」を中心に」

・楊智景(国立中正大学)

「1960年代台湾における日本文学を受容—三浦綾子『氷点』及びその翻訳者朱佩蘭を例にして考える」

◎コメンテーター：和泉司(豊橋技術科学大学)、郭南燕(明治大学)

◇第10分科会(社会学・歴史学) \*2セッション企画

「台湾の政治犯を救う会」をめぐる人権運動ネットワークと治安対策：美麗島事件を中心に

◎企画責任者：許仁碩(北海道大学)

◎座長：上水流久彦(県立広島大学)

◎報告：

・許仁碩(北海道大学)

「美麗島事件からみる海外人権運動への治安対策：日本「台湾の政治犯を救う会」を中心に」

◎コメンテーター：駒込武(京都大学)